

件 名 自然のビジターセンター機能を追加！ 飯能市郷土館常設展示改装について

1 概要

飯能市では、第5次総合振興計画に基づき、今後開園予定の「小さな発見に満ちた北欧時間の流れる森と湖メツツア」、「あけぼの子ども森公園」、「飯能河原・天覧山」の3つの観光拠点をつなぐエリアを都市回廊空間として形成し、人の流れを周辺の山間部や市街地へ誘導することを目指しています。

郷土館は、この飯能河原・天覧山の拠点施設として位置付けられており、今回のリニューアルは、従来の歴史博物館としての役割に、周囲の自然の魅力を紹介するビジターセンター機能を追加するものです。

2 内容

今回改装の対象となるのは、現在の常設展示室、シンボル展示「筏」、休憩コーナーです。改装の具体的な内容は、以下のとおりです。

○歴史展示室（現：常設展示室）

歴史展示室は、飯能市の地形的な特徴に合わせ、「里」・「町」・「山」の大きく3つに分かれています。見どころとなるのは、飯能市を代表する文化財である高山不動の「木造軍荼利明王立像」（国指定重要文化財）や「智観寺板石塔婆」（県指定文化財）の複製（それぞれ1基）のほか、「町」のコーナーには、明治末期頃の大通りの様子を1/150の模型で再現します。また、「飯能今昔」のコーナーは、地域の様子を写真などで展示し、定期的に展示替えを行います。

○自然コーナー（現：シンボル展示「筏」）

地質や植物、鳥類、哺乳類、両生類、昆虫など飯能河原・天覧山周辺の豊かな自然を紹介し、その発信拠点となるとともに、人々を郷土館周辺地域へと誘います。体験や観察しながら自然を学べるコーナーもあります。

○飯能と西川材コーナー（現：休憩コーナー）

西川材の名の起こりとなった筏流しのほか、西川材を利用した様々な商品見本を展示します。筏は、床に実物大のイラストを貼って大きさを表現します。

また、展示室内には日本語や外国語に翻訳された解説をスマートフォンで表示できるシステムの導入を検討するほか、人々を隣接する市街地や山間部へと誘うため、マップ付きの解説シートを展示室に置く予定です。

改装の内容の詳細については、別添の図面をご参照ください。

なお、郷土館は6月1日から改装工事のため休館しています。リニューアルオープンは11月下旬を予定していますが、工事の進捗状況などによって変更の可能性があります。リニューアルオープンの日時は、後日改めてお知らせします。

担当者 郷土館長 尾崎
連絡先 TEL 042-972-1414